

はじめに



近年、少子高齢化の進行や価値観・家族形態の多様化などにより、住民同士のつながりが希薄化するなど、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化しています。誰もが安心して暮らせる地域社会をつくるためには、社会保障（共助）や公的扶助・社会福祉サービス（公助）の充実を図る必要があります。

また、本市が目指す「オーガニックなまちづくり」の基本理念の1つである、『多様なあり方を認め合い、支え合う、自立した地域社会の仕組みを構築する』につながる「地域・近隣でのお互いに助けたり、助けられたりする関係（互助）」も同時に充実させることが重要であります。

本市では、平成19年3月に「ともに考え、ともに語り、ともに支え合う地域の福祉」を基本理念とする『木更津市地域福祉計画』、平成24年3月には『第2期木更津市地域福祉計画』を策定し、地域住民、事業者、行政、社会福祉協議会等の協働により地域福祉づくりの推進を図ってまいりました。

このたび、基本理念、基本方針を継承しながら社会情勢の変化やアンケートの調査結果等を踏まえ、より一層の推進を図るため『木更津市地域福祉推進プラン』を策定しました。

本プランは、『第3期木更津市地域福祉計画』と『第3次地域福祉活動計画』を協同で策定し、行政と民間との活動計画を密接に連携させることにより、本市の地域福祉の推進を図ろうとするものです。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことのできる地域づくりを目指し、本計画の推進に取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、熱心にご審議いただきました地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員の皆様を始め、関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成29年3月

木更津市長 渡辺芳邦

はじめに



第3次木更津市地域福祉活動計画は、地域福祉を取り巻く環境が大きく変化する中で、木更津市とそれぞれの役割を認識し、相互に連携を図り機動的取り組みを図るため、初めての試みとして木更津市地域福祉計画との協同により策定をいたしました。

本計画では、第1次からの基本理念である「ともに考え、ともに語り、ともに支え合う地域の福祉」を引き継ぎ、「つながろう木更津」のキャッチフレーズのもとで、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域で支えあう福祉のまちの実現をめざし、4つの基本計画を掲げ、確実な計画実現に向けた事業推進を図ってまいります。

本計画の柱といたしましては、対象者横断のワンストップ一括相談支援体制を確立するために各地区社協単位にコミュニティソーシャルワーカーをモデル配置するとともに、住民主体による地域課題の解決力強化・体制づくりをするために、地区社協の活動支援を図るべく、拠点の検討や地区懇談会を引き続き実施してまいります。

また、急速な少子高齢化、核家族化から起こる社会的問題としてクローズアップされている、成年後見制度をはじめとした市民の権利擁護を推進してまいります。

更に、ボランティアセンターの充実強化を図るとともに、市内の民間企業や社会福祉法人との連携強化を図ってまいります。

本計画実現に向け、各種補助金等の活用を視野に入れ、積極的な財源確保を図るとともに、公共性の高い社会福祉法人としての経営を明確に信頼性の向上と透明性の確保に取り組み、社会福祉協議会の安定的経営基盤の強化を推進してまいります。

今後、本計画を広く市民の皆様にお伝えし、皆様との連携、協働により計画実現に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました、木更津市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会委員の皆様をはじめ、地区懇談会等で貴重なご意見、ご提案をいただきました皆様に、心から感謝を申し上げます。

平成29年3月

社会福祉法人 木更津市社会福祉協議会
会 長 滝 口 君 江